

料理は一つの食材でも焼く・蒸す・煮る等、調理方法を工夫するだけで驚くような味の変化を楽しむことができます。さらに、他の食材と合わせると味のバリエーションは無限に広がります。

しかし、いくらいい食材でも組み合わせや火加減によってはまずいことにも・・・。

一つの食材だけではできない新しい味や魅力を創り出す「協働」がおいしくなるために気を付けたいことをレシピ帳として公開します。どうぞ自由にお使いいただき、あなたなりのおいしい創作料理を作ってください。



なぜ今さら「協働」のためのレシピ帳なの？

1つの組織ではできないことが、他の組織と一緒に取り組むことでできるようになることは、きっと誰もが経験済み。

そしてさらに、異業種や違う立場の人たちとコラボレーションすることで、新しいことや違ったことができることもみなさんご存知だと思います。

しかし、「協働」という言葉に対して、堅苦しさや胡散臭さを感じるという人、「都合良く使われるもの」と感じている人が多いようです。そして、「協働」からなんとなく離れている人、「協働」に取り組んでいるものの、「これでいいのかな？」と首をかしげている人もいるかもしれません。

また、「協働」していく過程で、ちょっとした行き違いや思い違いから様々なトラブルが生まれることも多々あり、「協働」に対して良い思いを持っていない人もいます。

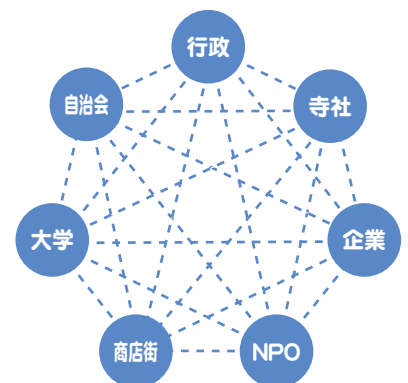
そこで、私たち京都市市民参加推進フォーラムでは、「協働」に取り組んでいるみなさんや、「協働」をはじめようとするみなさんが、「協働」をうまく進めるためにはどうしたらよいか、議論を重ね、また多くの方にインタビューをし、このレシピ帳にまとめました。

みなさんの「協働」に少しでも寄与できたら幸いです。

私たちが考える「協働」

京都市市民参加推進フォーラムが考える「協働」は行政とNPO、NPOと自治会の組み合わせだけではなく、NPOと大学、企業と大学、寺社と自治会など、多様な主体の組み合わせがあります。また、2者間はもちろん、3者間の「協働」、多数の主体の「協働」もあるでしょう。

様々な主体が「協働」してまちづくりに取り組む姿をイメージしています。



「失敗事例」から作りました

このレシピ集は、既に「協働」に取り組んでいる各組織のインタビューをもとに作成しました。インタビューでは、「成功事例」ではなく、あえて「協働」の中でおこった「トラブル」や「失敗」に注目し、その原因や解決策をおききました。